

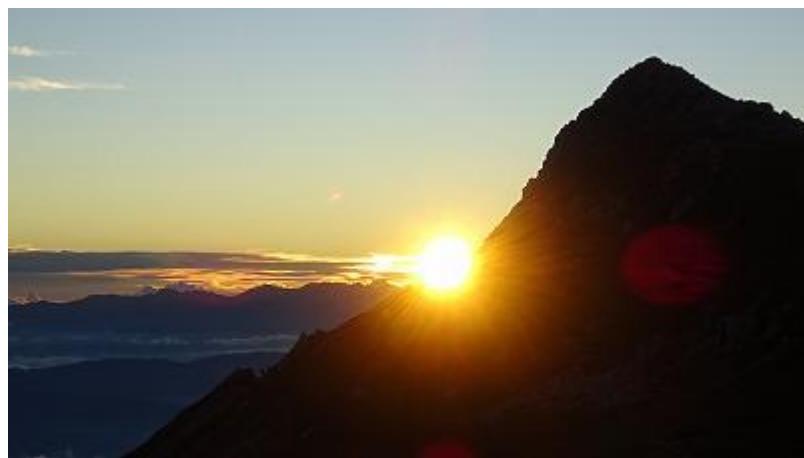
2021年8月6日（金）～8月7日（土） 木曽駒ヶ岳(2956m)＆宝剣岳(2931m)

2日目：8月7日（土曜日） 快晴 午後曇り 木曽駒ヶ岳登頂

夜中にはかなり大きな音を立てて風が吹いていましたが、明け方にはそれも収まり、4時頃には星空が広がっていました。天気は昼から下り坂に向う予報でしたけれども、我々は青空の下で木曽駒ヶ岳山頂に立つことが出来る見込みでした。

朝食は5時15分からとれるということでしたので、これを幸いに宝剣山荘出発を30分繰り上げて6時にしました。この30分繰り上げはその後の行程に万事奏功してくれて、順調な山旅を楽しむことが出来ました。

朝4時には室内の明かりが灯り、気の逸る登山客は早速ご来光を仰ぎ見に出ていきました。



宝剣山荘東に位置する和合山あたりから、雲海の上に顔を出した太陽の強い日が射してきた。



4時40分ごろ

食堂では既に朝食の準備が進んでいた。



宝剣山荘の朝食

ウィンナー、鮭の塩焼き、卵焼き、焼き海苔など



「寝た気がしない」とぼやいていた池戸さんも食欲は旺盛で、充分睡眠が取れていたことを窺わせた。

木曽駒からの下りに再び宝剣山荘に立ち寄れるので、不要な荷物は預けて軽装で登ることにした。朝食が早かったお陰で、計画より30分早い6時には出発することが出来た。



軽装で木曽駒に向けて出発

目の前に見える山は中岳

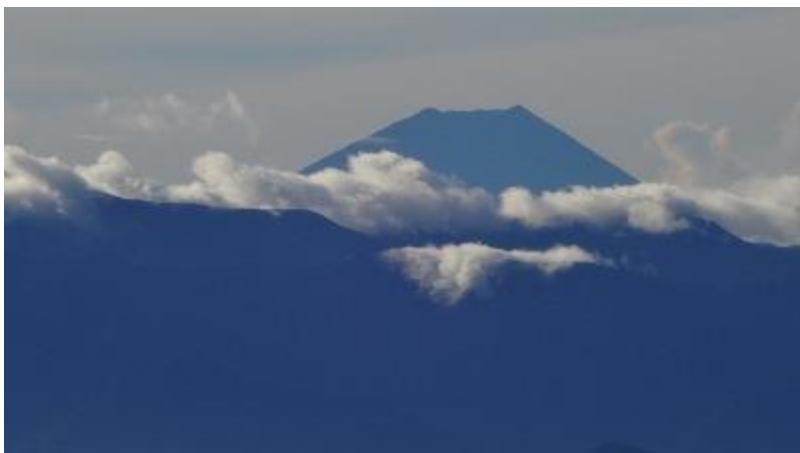


中岳までの登山道は緩やかな登り
歩きやすくて、15分ほどで着いてしまった。

赤屋根の山荘は宝剣山荘隣の天狗荘
その先には、昨日登った宝剣岳が見える。



中岳山頂 (2925m)



良く晴れ渡り、富士山がくっきりと頭を出していた。



中岳から一旦鞍部に下る。

見える山小屋は、「駒ヶ岳頂上山荘」
色とりどりのテントが、朝日に映えて美しく見えた。



駒ヶ岳頂上山荘とテント群



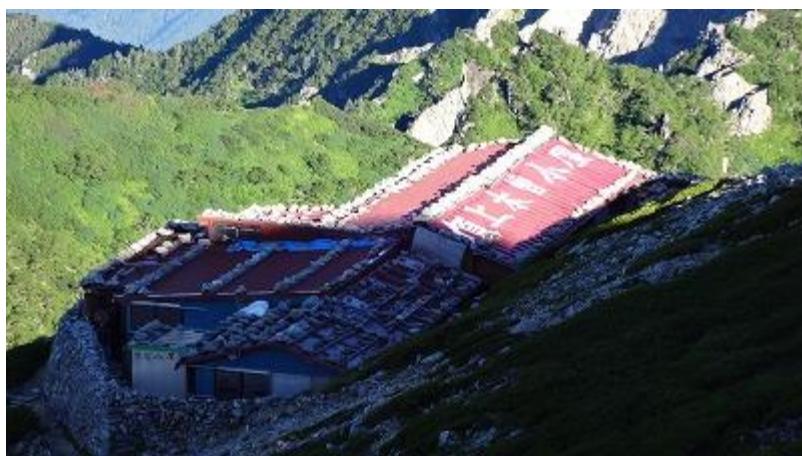
6時25分

鞍部で小休止



6時30分

鞍部から木曽駒山頂に向けて最後の登り



登山道の脇に見えた「頂上木曽小屋」

堀さんは、かつてここに小屋泊まりをして木曽駒ヶ岳に登ったとか。

登山道から目にした奇岩や変わった石積み



木曽駒ヶ岳までもう一息

6時45分 木曽駒ヶ岳山頂（2956m）到着

他の登山者もまばらで、風も無く空気も澄み、暫く山頂での一時を楽しむことにした。

山頂に木曽と伊那の2つの社殿が建っているのも面白い。

多くの山々が見渡せたのもラッキーであった。





木曾駒ヶ岳神社奥社

奥社の先には御嶽山

360度の山々を記した円柱



伊那駒ヶ岳社殿

南アルプス

御嶽山



乗鞍岳

北アルプス

八ヶ岳連峰

南アルプスは、左から鋸岳、甲斐駒、仙丈ヶ岳、塩見岳。その上空には巻積雲が出ている。

今日の御嶽山は穏やかだが、2014年（平成26年）には大噴火している。前年の2013年（平成25年）にクマさん会で登ったときに、山頂下辺りで盛んに噴煙が上がっていたのを思い出す。

乗鞍岳の右手には、穂高から槍ヶ岳に至る北アルプスの3000m峰が峰を連ねている。八ヶ岳も雲海の上に頭を覗かせていた。

7時

名残惜しかったが、山頂を後にすることにした。

予定よりは1時間ほど早い下山となつたので、少しだけ回り道にはなるけれど、「馬の背」を歩いてから下ることにした。



「馬の背」方面を指示示す標識

*こんなことは驚くことではありませんが・・・その4

馬の背を歩き出して6，7分

「殿」を歩いていた吉松が堀さんの後ろ姿に異変を発見

ストック片手に軽快に歩いている堀さんの背にサブザックが無い！

木曽駒ヶ岳山頂に引き返す堀さんの背中が、少し寂しそうだったのは気のせいでしょうか？



馬の背を歩いたのは良い選択だった。

幾つかの花に巡り会った。

ただ、6人が目を凝らして探した「クロユリ」を、ついに目にすることが出来なかつたのは残念



チングルマ群生



エーデルワイス



ウサギギク

馬の背から駒ヶ岳頂上山荘のある鞍部へ下る。



鞍部で一息入れて、登り返して中岳へ

今朝早く出発した我々はほとんど他の登山客とすれ違うこと無く歩けたが、この時刻になると少しずつすれ違ひの登山客が増えてきた。



中岳山頂で小休止



8時過ぎに中岳を後にして、一気に宝剣山荘まで下った。



8時15分

宝剣山荘に戻った。



預けてあったザックを引き取って下山の準備



8時30分

千疊敷駅に向って下山開始

天気予報通り、雲が湧いてきた。
山頂では視界も大分悪くなってきたに違いない。我々は本当についていたと思う。



*こんな珍事もあったとか・・・その5

下山時に根岸さんの後ろを歩いていた岡部さんが、石につまずいた。=早い話が、こけた!=

その時、岡部さんは思わず根岸さんの「尻」を「頭でど突ついた」らしい。

制動のため、根岸さんの尻をストッパー代わりにしたに違いない。

何故か根岸さんにとって「岡部さんの石頭のど突き」が印象深かつたらしく、レポーターにこの顛末をそっと教えてくれた。

下山道で見つけた花々



タカネグンナイフウロ



コオニユリ



モミジカラマツ



9時30分

ロープウェイ千畳敷駅では待たされること無くゴンドラに乗ることが出来た。



ロープウェイ しらび平駅では、駒ヶ根に向う伊那バスが待っていた。



10時過ぎにバス停留所「菅の台」で下車

早太郎温泉「こまくさの湯」で汗を流してから、そのまま館内で昼食をとることにした。



未だ他の下山客が入ってくるような時間では無かったので、温泉はガラガラ
幾つもあった湯ぶね全部に入ってしまった。
女性は1時間ほど経ってからゆっくりと食堂に現れた。

生ビール、地ビール、缶ビールなど好みのアルコールで喉を潤すことにした。

食堂でも他の客は少なく、時間を掛けて食事が出来た。



駒ヶ根駅では、12時46分発の列車に乗車、岡谷駅に13時55着

岡谷駅では乗り換え時間8分の間に、当初乗車予定の「あづさ44号（岡谷駅発 16時06分）」から「あづさ33号（岡谷駅発 14時03分）」に乗るべく、特急指定券の変更を敢行して大成功

今回は、無駄な待ち時間を使うこと無く乗り継ぎに成功して、2時間近くも早く帰宅出来る。

いつもの通り、持参のお酒をチビチビやりながら、帰宅の途についた。



兎に角天気に恵まれたことが幸運でした。

クマさん会の過去2回の登山では余り天気に恵まれていなかつただけに、今回は期待したとおりの登山となりました。また、コロナ禍の為ではありましたがあ、登山客が少なかつたので大混雑の憂き目にも遭いませんでした。

コロナ騒動が落ち着き、また多くのクマさん会メンバーで登山が楽しめたらと思います。